

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	40109
----------	-------

1. 開設大学	福山大学 生命工学部	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	海洋生物科学入門		
	学問分野	番 号	33 名 称 農学 (農学・水産学など)
3. 担当教員	満谷 淳 他 12 名 生命工学部 海洋生物科学科		
4. 開講学期	前期 週 1 コマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 2 年 4 月 15 日 (水) ~ 令和 2 年 7 月 25 日 (土) ※5 月 2 日 (土) 授業日 14 時 40 分 ~ 16 時 10 分		
個別開講日	1 回目 4/15	2 回目 4/22	3 回目 5 / 2
	4 回目 5 / 13	5 回目 5 / 20	6 回目 5 / 27
	7 回目 6 / 3	8 回目 6 / 10	9 回目 6 / 17
	10 回目 6 / 24	11 回目 7 / 1	12 回目 7 / 8
	13 回目 7 / 15	14 回目 7 / 22	15 回目 7 / 25
	16 回目 /		
6. 募集定員	10 人 (総授業定員 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	<p>福山大学 海洋生物科学科では、海洋の生物と環境についての深い理解にもとづいて、海洋の環境と生態系の保全、あるいは海洋生物資源の持続可能な利用に主体的に取り組み、循環型社会の構築に貢献できる人材を養成することを目指して、4つの分野に分かれてこのテーマに取り組んでいます。本講義では各分野で実施している卒業研究の背景、研究のねらい、最終的な目標などについて紹介します。</p> <ol style="list-style-type: none"> はじめに (担当: 満谷 淳) 資源利用育成分野① 養殖は食糧確保の決め手 (担当: 有瀬真人) 資源利用育成分野② 藻場と干潟の生き物たち (担当: 阪本憲司) 資源利用育成分野③ 稚魚のはなし (担当: 金子健司) フィールド生態環境分野① 干潟のはなし (担当: 北口博隆) フィールド生態環境分野② 海藻の分類と生態 (担当: 山岸幸正) フィールド生態環境分野③ フィールド研究とは (担当: 渡辺伸一) アクアリウム科学分野① 観賞魚の飼育管理 (担当: 水上雅晴) アクアリウム科学分野② 無脊椎動物の発生 (担当: 高村克美) アクアリウム科学分野③ 水槽ろ過装置のはたらき (担当: 真田誠至) アクアリウム科学分野④ 病気とその対策 (担当: 伊丹利明) 水産食品科学分野① 食品の衛生管理 (担当: 倉掛昌裕) 水産食品科学分野② 食品保蔵を科学する (担当: 三輪泰彦) 水産食品科学分野③ 微生物がつくる水産食品 (担当: 満谷 淳) おわりに (担当: 満谷 淳) 		
8. 受講料	無料		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 別途負担費用なし 資料などは必要に応じて配布します。		
10. 学習記録	交付する		○交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		○受け入れない
	単位数	単位	
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)	
	試験・評価		
	特記事項		
12. 開講条件※1 ない	① 最少開講人数 (人) ② 不開講通知日 (7月10日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月11日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 初回の集合場所: 本学 24 号館 2 階 2424 教室		
14. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。